

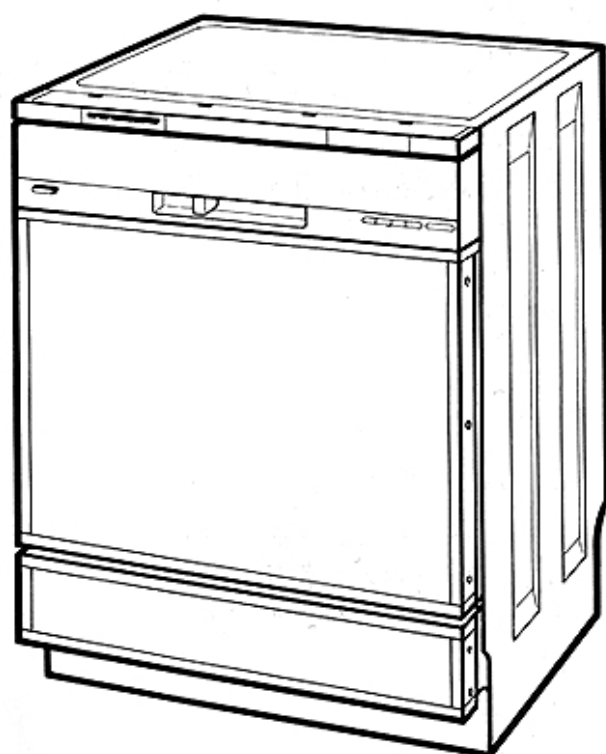
## 食器洗い乾燥機

60cm幅シリーズ

品番 **NP-9200BP**

## 据 付 工 事 説 明 書

**100V**



### もくじ

安全上のご注意 <b>必ずお守りください</b> .....	2
工事をされる方へのお願い .....	4
名称及び寸法図 .....	4
設置前の確認 .....	5
設置手順 .....	9
本体の設置 .....	14
試運転 .....	17
試運転後の設置作業 .....	19
工事後の点検（チェックリスト） .....	22
お客様への取り扱い説明 .....	22
買い替えの場合の配管施工例 .....	23

# 安全上のご注意

必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った使い方をした時に生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

**警告** この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。

**注意** この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

(下記は絵表示の一例です。)

**注意喚起** このような絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。

**禁止** このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。

**強制** このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

## 警告

絶対に分解したり修理・改造しないでください。



分解禁止

発火したり、異常動作してけがをすることがあります。

●修理は販売店へご相談ください。



火のついたローソク、蚊取り線香、煙草などの火気や、揮発性の引火物を近付けないでください。



火気禁止

火災や変形の恐れがあります。



水につけたり、水をかけたりしないでください。



禁止

ショート・感電の恐れがあります。



電源プラグは、刃及び刃の取付面にほこりが付着している場合はよく拭いてください。



火災の原因になります。

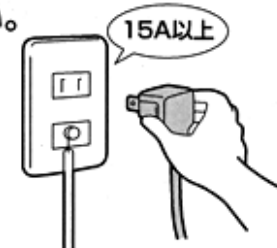


## 警告

定格15A以上のコンセント(専用)を単独で使ってください。



他の器具と併用すると分岐コンセント部が異常発熱して発火することがあります。



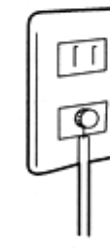
アースを確実に取り付けてください。



アース線接続

故障や漏電のときに感電する恐れがあります。

●アース工事は必ず販売店に依頼してください。



## 注意

交流100V以外では使用しないでください。



禁止

火災・感電の原因となります。

コンセントの差込みがゆるいときや、電源コードや電源プラグが傷んでいるときは使用しないでください。



禁止

感電・ショート・発火の原因になります。

●販売店に点検・修理を依頼してください。



電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたりしないでください。



禁止

電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。

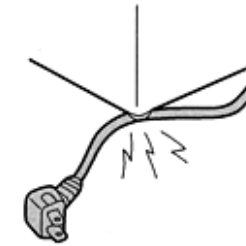


電源コードに重い物を載せたり、挟み込んだりしないでください。



禁止

電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。



電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず電源プラグを持って抜いてください。



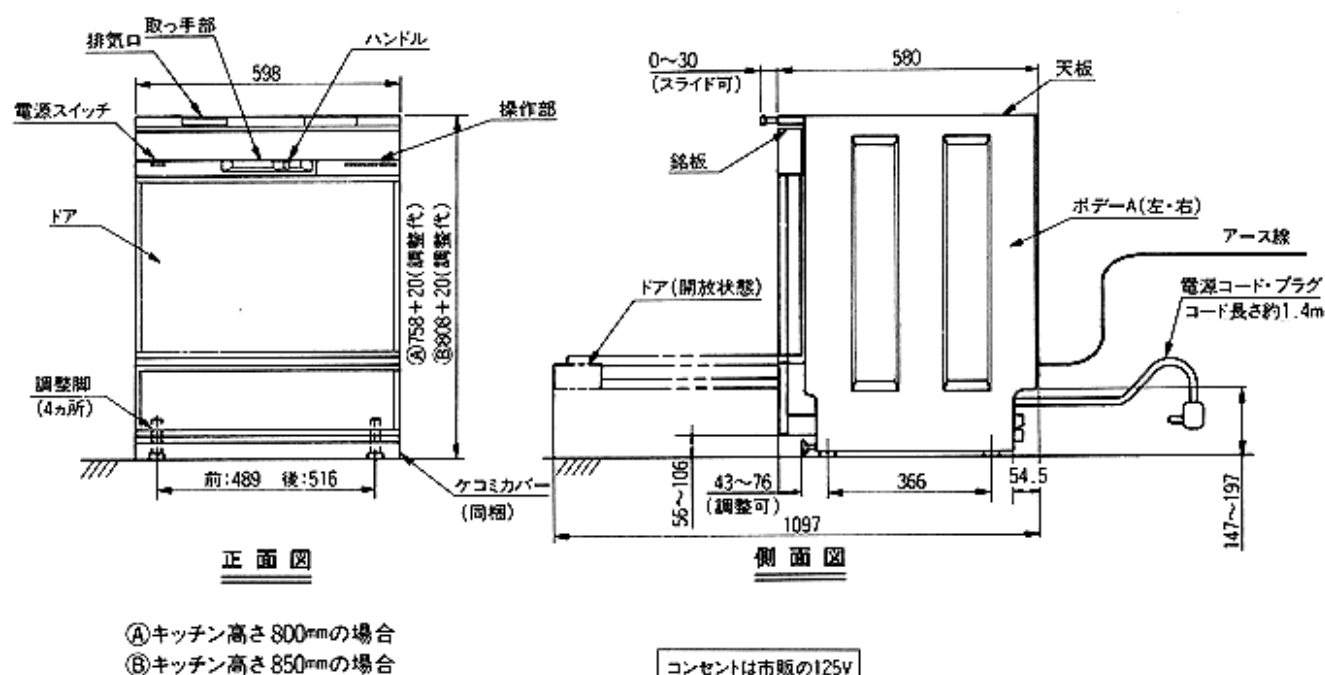
感電やショートして発火することがあります。



# 1.工事をされる方へのお願い

- 配管工事は全て水道法、建築基準法、各都市の条例、規定に準じて行ってください。
- 製品の機能が十分発揮されるように、この据付工事説明書の内容にそって正しく取り付けてください。
- 本機は建築基準法に基づく、排水管接続直結タイプです。
- 工事終了後「工事後の点検」のチェックリストに基づいて必ず再確認を行ってください。
- この説明書は工事終了後、お客様へお渡しください。
- 据付け工事に関して不明な点がありましたら事業部へご相談ください。

## 2.名称及び寸法図（単位：mm）














### 3. 設置前の確認

●本体およびかごに貼っているテープやダンボールなどは全部取り外してください。

#### 3-1. 付属品の確認

●工事を始める前に、付属品の有無を確認してください。

ご使用時に必要な付属品	据付け工事に必要な付属品		
●専用洗剤 (100g×2袋) 計量スプーンつき 	●ホースバンド (各1個)  	●排水ホース ●ホーススプリング 	●スベリシート (2枚) 
●乾燥仕上げ剤 	●転倒防止金具 (左右各1個)  ●タッピンネジ大 (6本) 	●ケコミ補強板 ●タッピンネジ(2本)  H: 800mm H: 850mm 各1枚	●ケコミカバー ●タッピンネジ(2本) 黒色  

#### 3-2. 電気工事

##### ⚠ 警告

定格15A以上のコンセント（専用）を単独で使ってください。



他の器具と併用すると分岐コンセント部が異常発熱して発火することがあります。

##### ⚠ 注意

交流100V以外では使用しないでください。

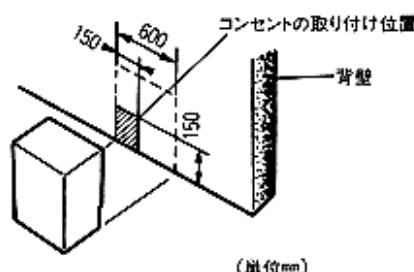


禁止

火災・感電の原因となります。

■工事は全て電気設備技術基準に準じて行ってください。

- 電源回路は100V、15Aの専用回路が必要です。
- 本体を設置する場所の背壁に、給・排水管工事部分を避けた位置に埋込みボックスを設け、これに電源電線、アース線を配線しておいてください。(図1)
- コンセントは125V、15Aのアースターミナル付埋込みコンセントを使用してください。コンセントは壁面に必ず固定してください。
- アース工事は必ず行ってください。

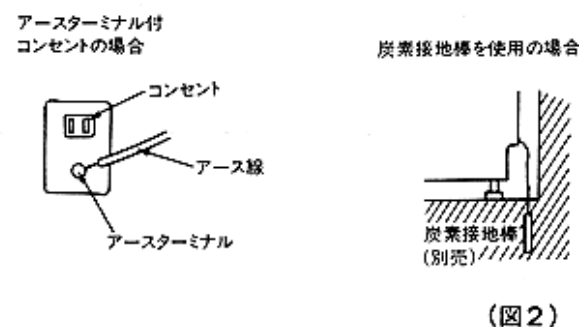


(単位mm)

(図1)

### 3-3. アースについて ※法令上必要です。

- 炭素接地棒(別売：部品番号ANP3C-160)を使用される場合、アース工事は必ずお買い上げの販売店か電気工事店にご依頼ください。  
(電気工事士の有資格者が第3種接地工事をするよう法令で定められています。)
- ガス管や水道管、電話や避雷針のアース線には絶対に接続しないでください。(法令等で禁止されています。)
- 設置場所の変更やご転居の際には、再度アースの取り付けをしてください。  
(アース工事は有料ですのでご了承ください。)



(図2)

### 漏電しゃ断器の設置について

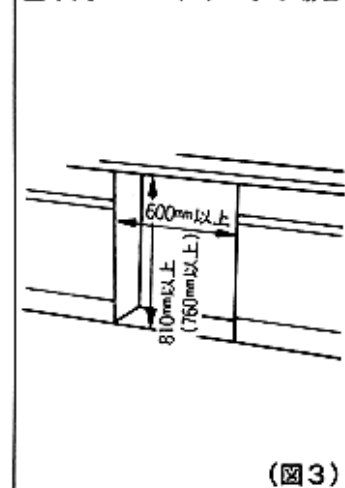
万一の漏電事故時の安全確保のために、漏電しゃ断器の設置が必要です。

※尚、主幹に漏電しゃ断器が設けられている場合は、新たに漏電しゃ断器を設置する必要はありません。

推奨漏電しゃ断器——住宅分電盤用小形漏電ブレーカー  
品番(松下電工)BJS 203  
定格電流20A、感度電流30mA (AC100-200V両用)  
既設分電盤の分岐安全ブレーカーHB型と同一サイズ  
ですから、そのまま取り替えて、専用回路の漏電保護ができます。

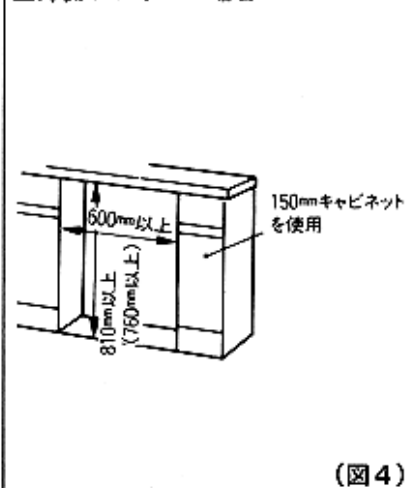
### 3-4. 設置場所の確認

■中間にビルトインする場合



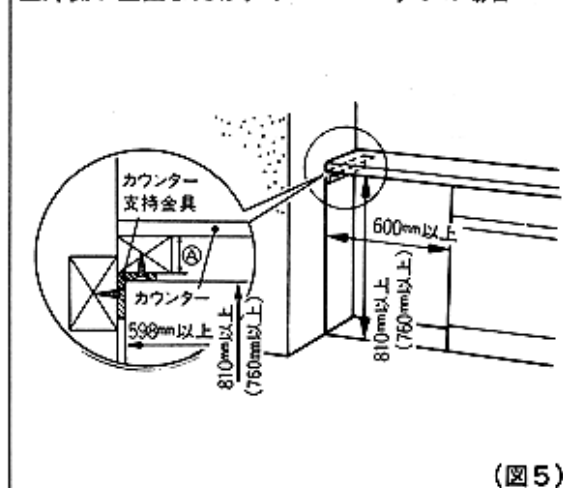
(図3)

■片側がフリーの場合



(図4)

■片側が壁面または、ツールユニットの場合



(図5)

上図( )内寸法はキッチン高さが800mmの場合を示す。

※片側がフリーの場合、幅150mmキャビネット等を使用して、カウンターを支え、食器洗い乾燥機をビルトインする等の処置を施してください。(図4)

※(図5)に示すカウンター支持金具は別売補強部材(品番N-L2)又は市販のL金具をご使用ください。

※カウンター支持金具を固定する場合、(図5)に示す寸法を(598mm以上)必ず確保してください。

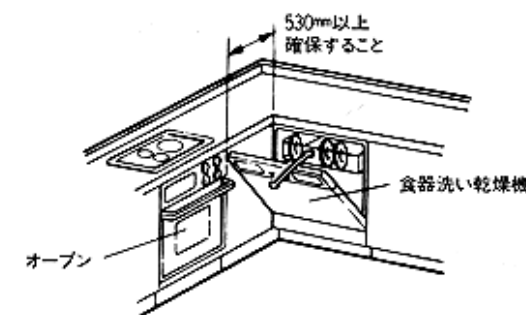
※締結ビスの長さは、上図の④寸法より5mm以上短くして、カウンターの金属部に接触させないでください。電気設備技術基準182条により義務づけられています。

### お願い

- ビルトイン型加熱機器等と並べて食器洗い乾燥機を設置しますと、カウンター上に荷重をかけた時、カウンターがたわむことがありますので、カウンターの補強処置を施してください。

- 流し台がし型配列の場合、食器洗い乾燥機をコーナー部に設置すると、オープン等によっては、本機のドアを開閉する際にオープン等の取っ手部に当たり、故障修理の際に本機が引き出せない場合がありますのでご注意ください。(図6)

※本機の金属部分が、家屋の壁中のラスや金属板、流し台のステンレス天板と電氣的に接触しないようにしてください。電気設備技術基準182条により義務づけられています。



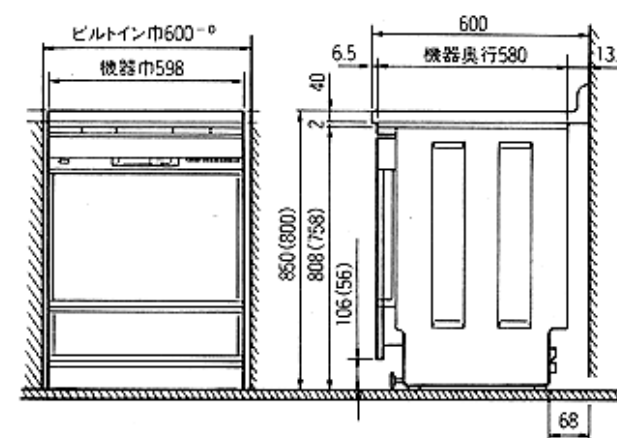
(図6)

### 工事の前に

■この工事説明は、図7のキッチン寸法を標準として算出しています。したがってキッチンの寸法が変わる場合は図7を参照して寸法調整をしてください。

右図はキッチン高さ850mm、キッチン奥行き600mmの場合を示す。

また、( )内寸法はキッチン高さ800mmの場合を示す。

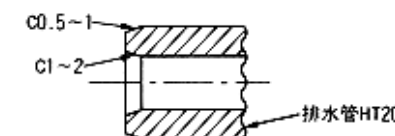


(図7)

### 3-5. 給水・給湯工事・排水工事

■本機は配管直結タイプですので設計及び施工工事の段階で給・排水の位置決めは正確に行ってください。

- 給水管は硬質塩化ビニルライニング鋼管を使用してください。
- 配管工事は(図8)、(図9)、(図10)の例の寸法になっているか確認してください。( )内寸法はキッチン高さ800mmの場合を示す。※排水管高さ170(120)は、建築基準法上必要な寸法です。
- 排水配管は呼び径20以上のものを使用してください。
- 給水、排水配管の端面はバリのないよう処理してください。かつ管内に残っている異物(切り粉など)を完全に取り除いてください。配管つまりによる故障の原因となります。
- 排水横枝管に至るまでの接続部品(図示していない)も耐熱塩化ビニル管を使用してください。
- 配管用接着剤は耐熱用を使用してください。
- (図8)、(図9)、(図10)の場合、ドライバー用アングル型止水栓を必ず取り付けしてください。  
(止水栓は閉じた状態にしておいてください。)
- 排水管HT20の端面内周に、面取り(C1~2)を施してください。外径外面側は面取り(C0.5~1)をつけるとホースの挿入が容易になります。





**①床立上げの配管例**  
(排水管を上にしてください。)

給水(給湯の場合は耐熱配管)

①ドライバー用アングル型止水栓  
②硬質塩化ビニルライニング鋼管相当品  
③Rc $\frac{1}{2}$ エルボ  
④硬質塩化ビニルライニング鋼管相当品  
(断熱材巻付け $\phi 48$ )

排水(耐熱塩ビ使用のこと)

⑤HT20相当品  
⑥エルボ

※排水管⑤の長さ200mmは、キッチン奥行L=60cm基準です。キッチン奥行が長い場合は、延長してください。

(図8)

**②壁出しの配管例**  
(排水管を上にしてください。)

給水(給湯の場合は耐熱配管)

①ドライバー用アングル型止水栓  
②硬質塩化ビニルライニング鋼管相当品  
③Rc $\frac{1}{2}$ ソケット  
(断熱材巻付け $\phi 48$ )

排水(耐熱塩ビ使用のこと)

④HT20相当品  
⑤ソケット

※排水管④の長さ200mmは、キッチン奥行L=60cm基準です。キッチン奥行が長い場合は、延長してください。

(図9)

**③床ころがしの配管例**  
(排水管を上にしてください。)

キッチン奥行L=75cm又は水切りによって壁面と食器洗い乾燥機背面との距離に余裕がある場合のみ可能です。

給水(給湯の場合は耐熱配管)

①ドライバー用アングル型止水栓  
②硬質塩化ビニルライニング鋼管相当品  
③Rc $\frac{1}{2}$ エルボ  
④硬質塩化ビニルライニング鋼管相当品  
⑤チーズ  
(断熱材巻付け $\phi 48$ 、 $\phi 68$ )

排水(耐熱塩ビ使用のこと)

⑥HT20相当品 ⑨チーズ  
⑦エルボ ⑩VP40  
⑧径違いソケット(40×20)

(図10)

### 3-6. 給湯接続の場合の給湯機の確認

- 給湯接続の場合は石油給湯機、中型以上の深夜電力利用温水器、10号以上の先止め式給湯機等で70℃以下の温度に調整可能な機器に接続してください。  
※電気温水器には別売のミキシングバルブ(AD-M2140、AD-M2140N(寒冷地用))(松下部材センター扱い)の接続をおすすめします。
- 小型深夜電力利用温水器には接続しないでください。製品へ給水されない恐れがあります。
- 食器洗い乾燥機の水道水圧は0.03~1MPa(0.3~10kgf/cm<sup>2</sup>)の範囲で使用してください。

**⚠ 注意**

元止め式湯沸器には接続しないでください。

禁止

湯沸器からの水もれの恐れがあります。

高水圧地域では給湯機に所定の減圧弁を必ず取り付けてください。

水もれの原因になります。

## 4. 設置手順

### 4-1. 転倒防止金具の取り付け

**⚠ 注意**

必ず転倒防止金具を取り付けてください。

開いたドアを押さえたときに製品が転倒する恐れがあります。

**1** 転倒防止金具を床面に取り付けてください。型紙(本体上部のダンボール)を図11、図12、のように床面に敷き、左右の切欠き部に転倒防止金具を置いて同梱のタッピンネジ大(左右各3本ずつ)で床面に取り付けてください。

(図11)

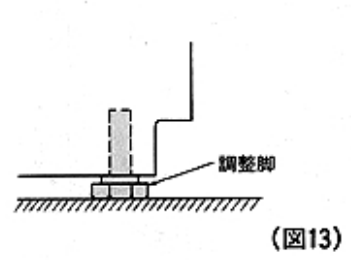
**2** 型紙を外してください。

(図12)

### 4-2. 本体の高さ調整

#### キッチン高さが800mmの場合

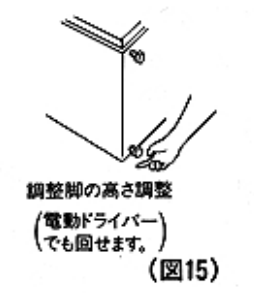
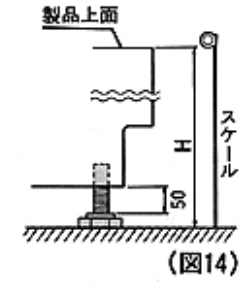
本体下部の調整脚(4本)を図13のようにいっばいに締め込んでください。



#### キッチン高さが850mmの場合

スケール等を使って図14、15のように調整脚の高さを設定してください。

キッチン高さ	H
800mm	758mm
850mm	808mm



**お願い**  
調整脚の高さ調整をする時、製品を左側へは絶対に倒さないでください。  
(水位スイッチの誤動作の原因となります。)



#### 4-3. スベリシートの取り付け

同梱のスベリシートを本体の後方側の2本の調整脚に取り付けることにより、本体の移動が行いやすくなります。

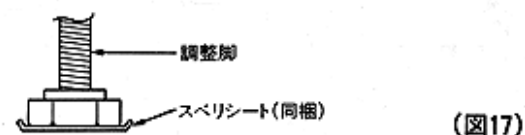
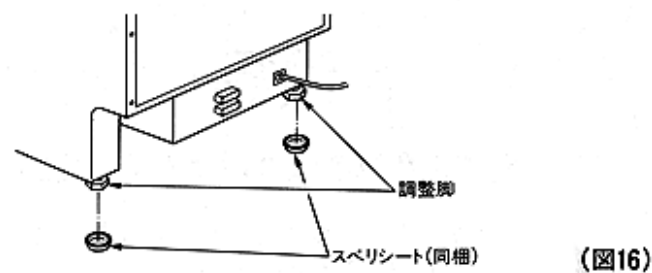
①調整脚の下面のゴミ、油、水分をよくふきとってください。(汚れがあると接着力が弱くなります。)

②スベリシートのくぼみ部の台紙をはがし、調整脚の下面にスベリシートを貼り付けてください。(図16、17)

③本体を移動する時は、本体の前を少し持ち上げるようにして押すと、移動が行いやすくなります。

※床材によってはすべりにくい場合もあります。

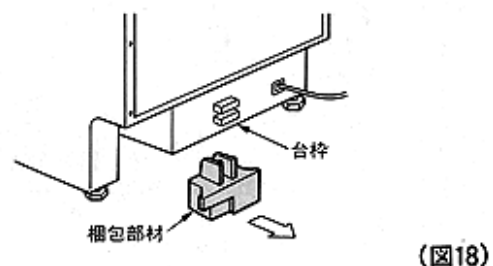
このような時は、スベリシートを取り付けしないでください。



#### 4-4. 台枠に挿入されている梱包部品の取り外し

製品の後方から、台枠のトンネル部に挿入されている梱包部材を引き抜いてください。(図18)

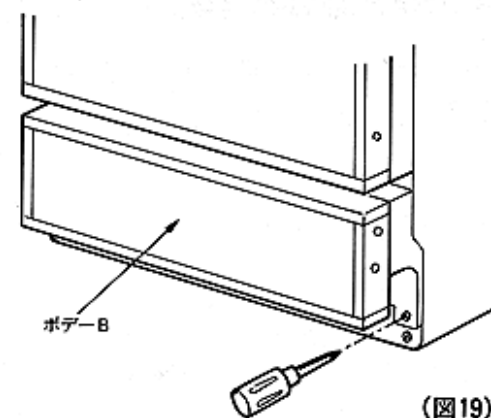
※この梱包部材を外さないと、本体のビルトインができませんので必ず外してください。



#### 4-5. ボデーBの本体からの取り外し

左右2ヵ所のネジを外し、ボデーBを少し上に持ち上げるようにして取り外してください。(図19)

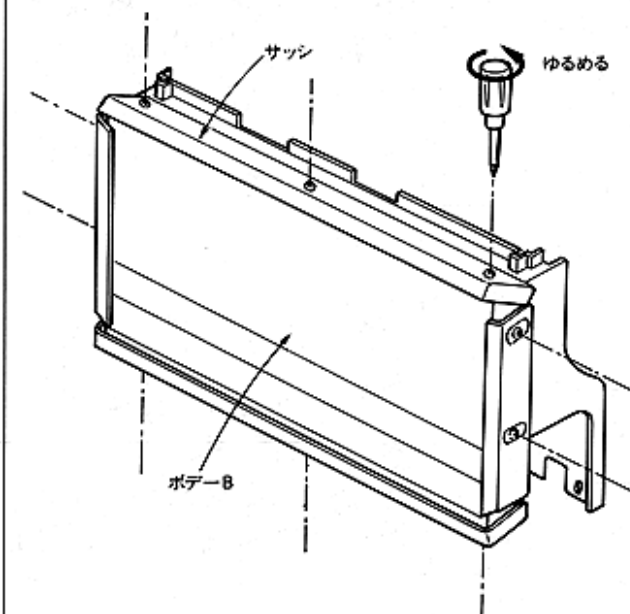
このボデーBは17ページの「6.試運転」終了まで取り外した状態にしておきます。



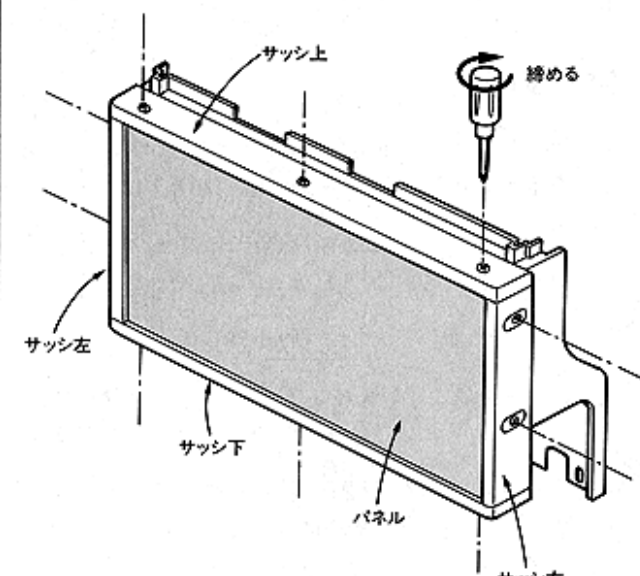
#### 4-6. ボデーBへのパネル[化粧板](別売)の取り付け

1. 10ヵ所のネジを5mm程度ゆるめて、サッシが広がる状態にし、別売パネルをはめてください。(図20)

※サッシをボデーBから外す必要はありません。



2. パネル(別売)をサッシで押さえつけながら、10ヵ所のネジを締め付けてください。(図21)  
※まずサッシ上、下を締めてから、サッシ左、右を締め付けてください。

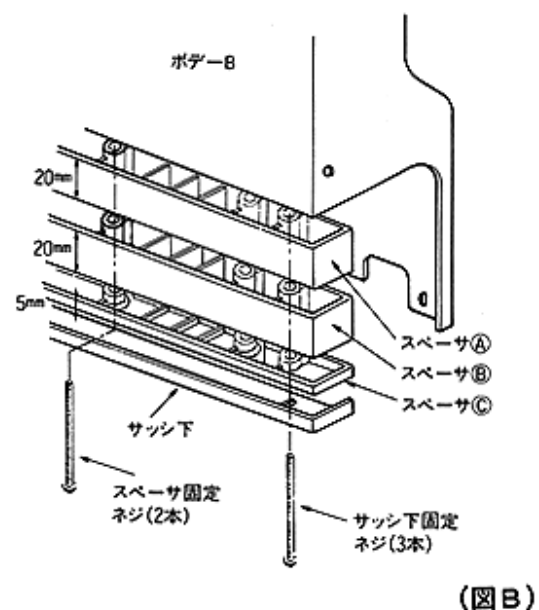
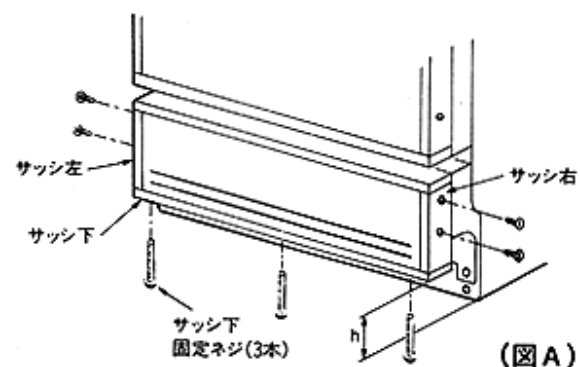


#### 4-7. キッチンケコミ高さに合わせたボデーBの高さ調整

- 出荷時にはケコミ高さh(図A)は、キッチン高さ850mmの場合106mm、キッチン高さ800mmの場合56mmに調整してあります。
- ケコミ高さは、ボデーB下部のスペーサーの組み合わせにより、キッチン高さ850mmの場合106~151mm、キッチン高さ800mmの場合56~101mmまで6段階に調節できます。(表C)
- ケコミ高さ調整が必要な場合は、以下の手順に従って行ってください。

##### 【手順】

1. サッシ左、右のネジ(左右各2ヵ所)を外し、サッシ左、右をボデーBから取り外します。(図A)
2. サッシ下のネジ(3ヵ所)を外し、サッシ下をスペーサーから取り外します。(図A)
3. スペーサ固定ネジ(2ヵ所)を外します。(図B)
4. スペーサA、B、Cを表Cに合わせて組合せ、ケコミ高さhをキッチンのケコミ寸法に合わせてください。
5. スペーサ固定ネジ(2ヵ所)を締め付けた後、サッシ下の固定ネジ(3ヵ所)を締め付けてください。
6. サッシ左、右の裏面の溝(図D)をスペーサ組合せ寸法に合わせて、ノコ又はカッター等で切断します。
7. サッシ左、右をネジ(左右各2ヵ所)で締め付けます。

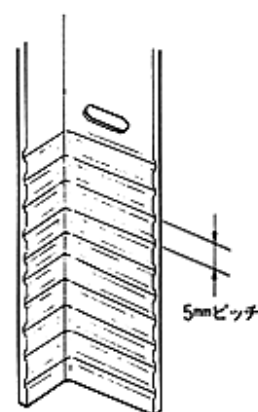


※ボデーBへのパネル(化粧板)(別売)の取り付けは、4-6.に従って行ってください。

スペーサの組合せ	ケコミ高さh (mm)
A B C	106 (56)
A B	111 (61)
B C	126 (76)
A	131 (81)
C	146 (96)
無し	151 (101)

( )内数字はキッチン高さ800mmの場合。  
※スペーサ高さ10mm(別売:部品番号ANP970K 1890)を用いると、5mmピッチで調整できます。

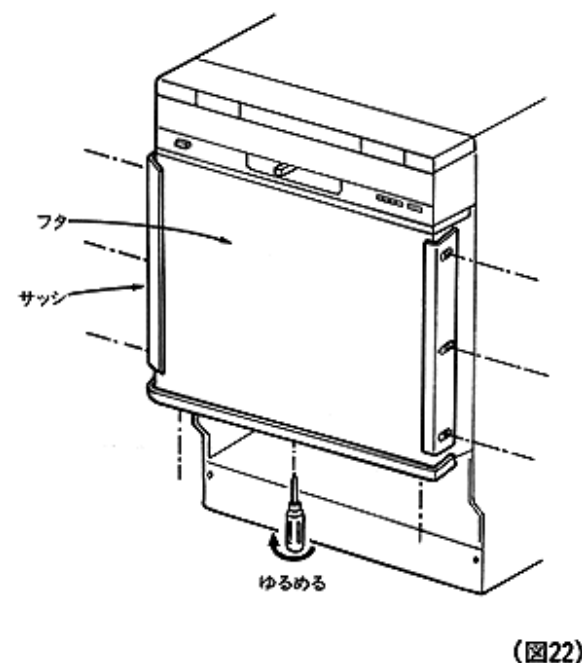
(表C)



(図D)

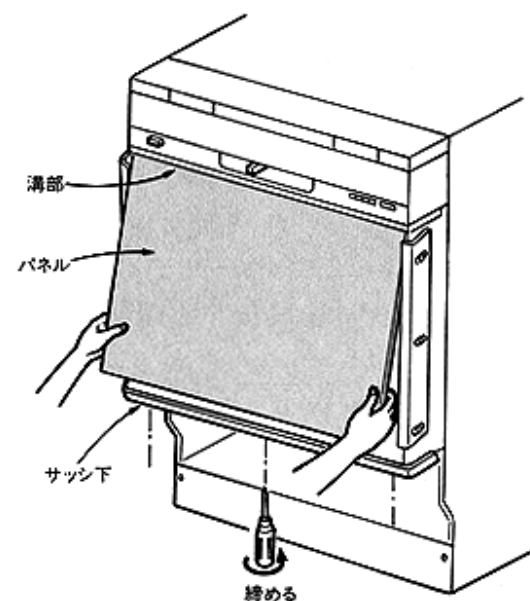
#### 4-8. ドアへのパネル(化粧板)(別売)の取り付け

1. 9ヵ所のネジを5mm程度ゆるめて、サッシが広がる状態にしてください。(図22)  
※サッシをフタから外す必要はありません。



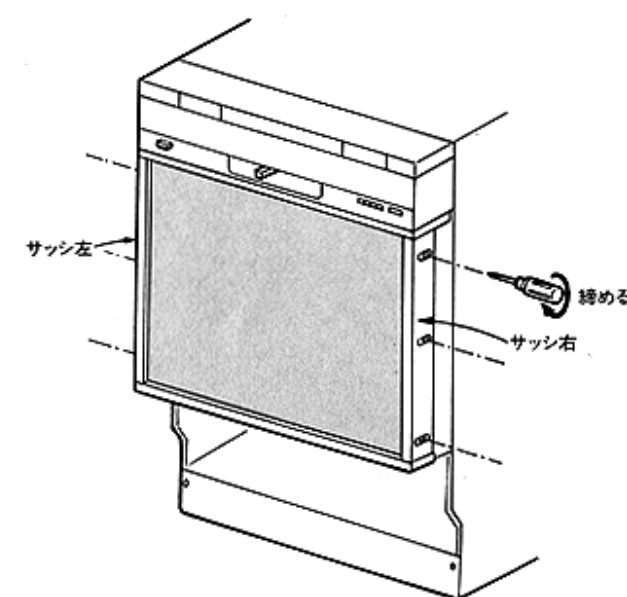
(図22)

2. パネル(別売)をドア上部の溝部に挿入し、サッシ下とドアの隙間にはさみこんでから3ヵ所のネジを締め付けてください。(図23)



(図23)

3. 6ヵ所のネジを締め付けて、左右のサッシを固定してください。(図24)



(図24)

##### お願い

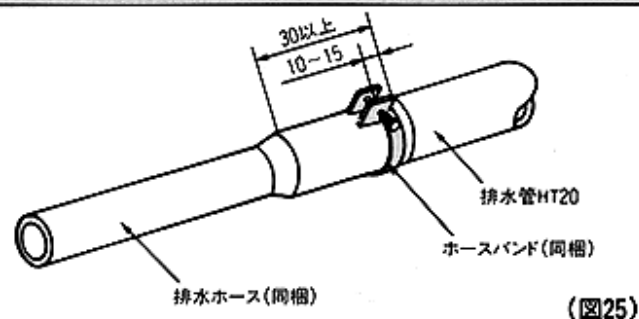
サッシ下、及びサッシ左、右を固定する時は、パネルをしっかりと押さえつけるようにネジを締め付けてください。



## 5. 本体の設置

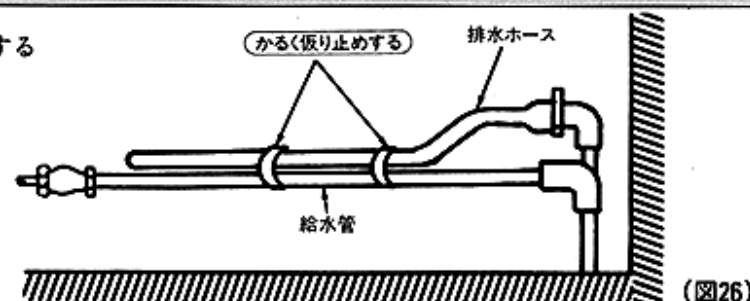
### 5-1. 排水ホースの接続

排水ホース(同梱)を排水管HT20に十分に挿入し、ホースバンド(同梱)で締め付けてください。(図25)  
右図の寸法を目安にしてください。



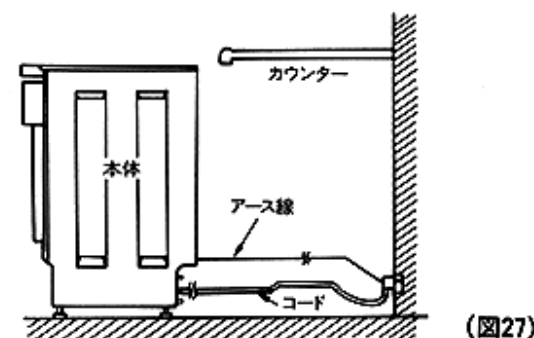
### 5-2. 配管の回り止め

ビルトイン作業時に排水ホースを通しやすいようにするため給水管へビニールテープ等でとめてください。(図26)



### 5-3. 電源コード・アース線の接続

- ①電圧が100Vであることを確認してから埋込みコンセントに電源プラグを差し込んでください。
  - ②アース線をアースターミナルに接続します。
- ※ガス管や水道管、電話や避雷針のアース線には絶対に接続しないで下さい。(法令等で禁止されています。)



#### 警告

アースを確実に取り付けてください。



故障や漏電のときに感電する恐れがあります。

アース線接続

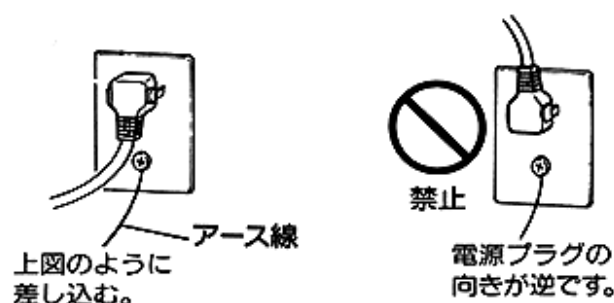
- アース工事は必ず販売店に依頼してください。

#### 警告

電源プラグはコードが下方向に出るよう、コンセントに奥まで確実に差し込んでください。



上方向に出すとプラグの接触が不安定になり、異常発熱して発火する恐れがあります。



#### 警告

電源コードを切断したり、屋内配線ケーブルと直結したりしないでください。



感電・漏電や火災の原因となります。

禁止

コンセントを床面にこころがして、電源プラグを差し込み使用しないでください。



感電・漏電や火災の原因となります。

禁止

### 5-4. 本体のビルトイン

隣接する機器等に注意をし、給水管、排水ホースが、台枠のトンネル部を通るようにして、本体の下方をゆっくりと押しながらビルトインしてください。

※本体の金属部分が、家屋の壁中のラスや金属板、流し台のステンレス天板と電氣的に接触しないようにしてください。  
電気設備技術基準182条により義務づけられています。

#### 警告

ビルトインのとき電源コード、アース線、排水ホース、給水管に傷をつけないでください。



感電・漏電・火災や水もれの原因となります。

禁止

電源コードを転倒防止金具や調整脚との間に挟み込まないでください。

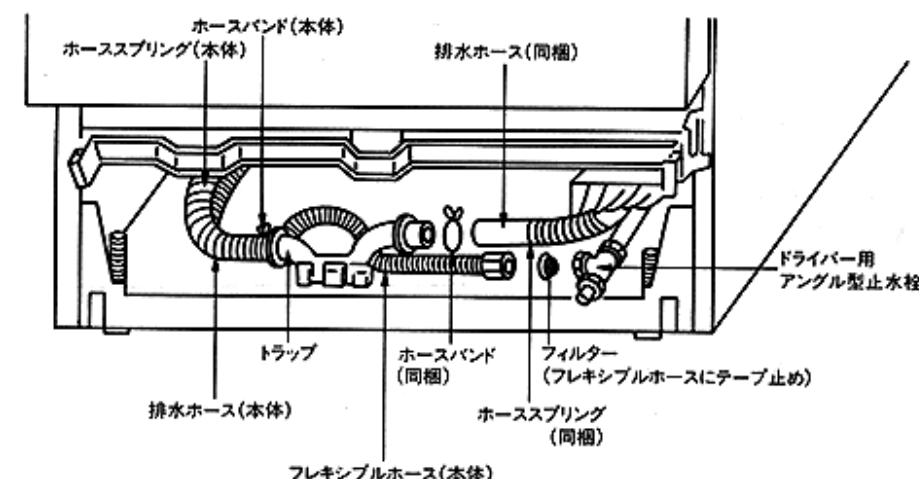


感電・漏電や火災の原因となります。

禁止

### 5-5. 給・排水ホースの接続


- ビルトインが完了すると、図28のように給水管・排水ホースがダクト部より突出します。
- 排水ホース(本体)を接続したトラップは事前に台枠の保持部にはめ込んでいますので、はずれていないことを確認してください。



(図28)

**1** フレキシブルホース(本体)をドライバー用アングル型止水栓に確実に接続してください。

(フィルターの方に注意(図29))



**2** 排水ホース(同梱)は若干長めになっています。排水ホースが折れないようにトラップに合わせた時、長すぎる場合はカットして調整してください。

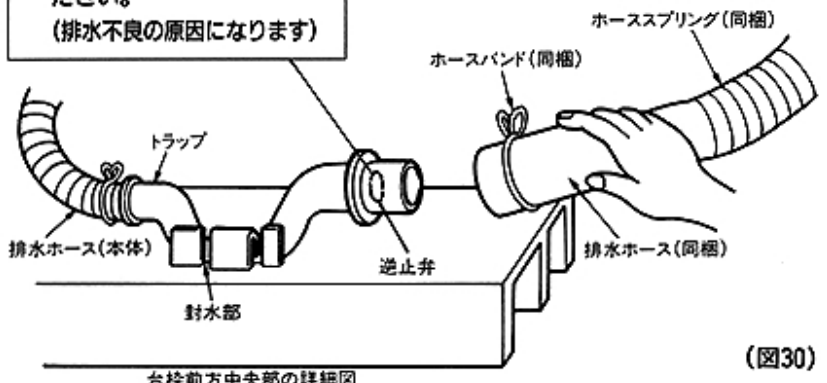
**3** 排水ホース(同梱)にホーススプリング(同梱)を挿入したのち、ホースバンド(同梱)をはめてください。

**4** 排水ホース(同梱)をトラップのストッパーに当たるまで挿入してください。(図30)

●逆止弁をはずさないでください。(法令上必要です)

●逆止弁を押し込まないでください。(排水不良の原因になります)

**5** ホーススプリング(同梱)を排水ホース(同梱)の曲がり部にセットしてください。(図30)



(図30)

- お願い**
- フレキシブルホースのナットは必要以上に強く締め付けますと、パッキングが破れますのでご注意ください。ナットは手で軽く締め込んだ後、約半回転ぐらい締め付けてください。適正締めトルクは5~10Nm(50~100kgfcm)です。
  - 接続部には必ず図30に示すホースバンド(同梱)をはめてください。ホースバンドは法令上必要です。必ずつけてください。
  - 排水ホース(同梱)を接続した後、トラップの封水部(U字形)が、台枠にはまり込んで容易にはずれないことを確認してください。法令上必要です。

**⚠ 注意**

フレキシブルホースは切断しないでください。

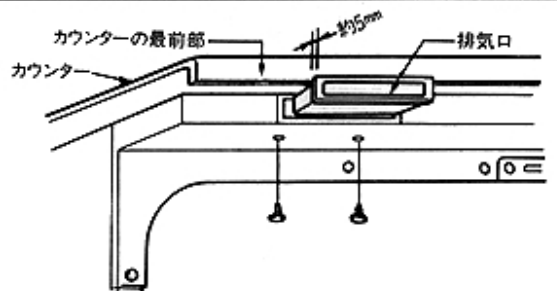
❌ 水もれの原因となります。

禁止

**5-6. 排気口の調整(必ず行ってください)**

ドアを開放状態にして排気口下部の締め付けネジ(2本)をはずし、排気口の前面がカウンターの最前部より5mm程度出張るようにして締め直してください。(図31)

●排気口の調整は必ず行ってください。カウンターの裏面芯材に腐食等の支障をきたす恐れがあります。



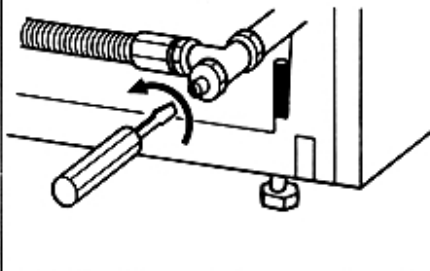
(図31)

## 6. 試運転

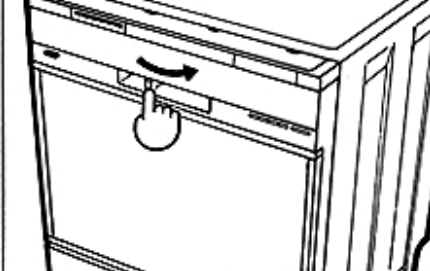
### 6-1. 試運転の手順

- あらかじめ電源の通電と元栓の開栓を確認してください。
- 次の順序で試運転を行ってください。約9分で終了します。

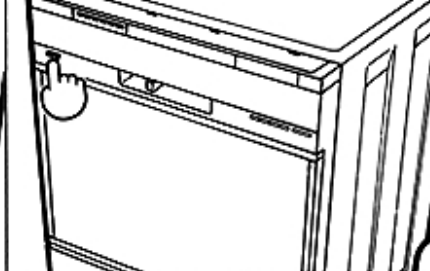
**1** 止水栓を開きます。



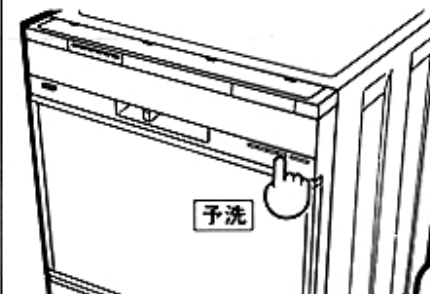
**2** ドアを閉じます。(ハンドルを「とじる」位置までいっぱい動かしてください。)



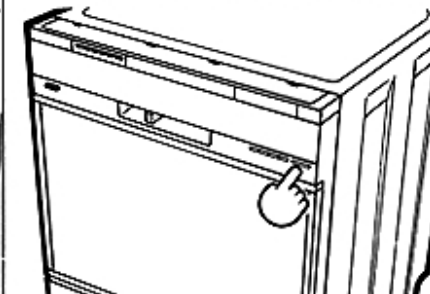
**3** 「電源スイッチ」を「入」にします。



**4** 「コース」ボタンを押して「予洗」コースを選んでください。



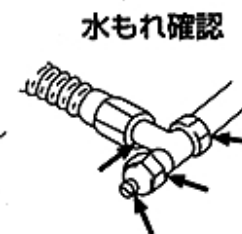
**5** 「スタート/一時停止」ボタンを押してください。「予洗コース」が開始し、約9分間で終了します。



### 6-2. 試運転の確認項目

次の確認を行ってください。

- 一定量の水が入ればシャワーを噴射しながら庫内のノズルが回転します。(噴射音：バシャバシャ音が聞かれるか確認してください。)
- 運転中、給・排水各接続部や止水栓、その他からの水もれがないことを十分確認してください。
- 運転が終了しますとブザーが鳴り「電源スイッチ」が「切」になります。ドアを開け、庫内の水が排水されていることを確認してください。(残菜フィルターの下に若干の水が残りますが、これは異常ではありません。)



### 6-3. 試運転時に異常報知が発生した場合

乾燥およびコース表示部に以下のように表示され、進行表示が点滅し、ブザーが鳴る。

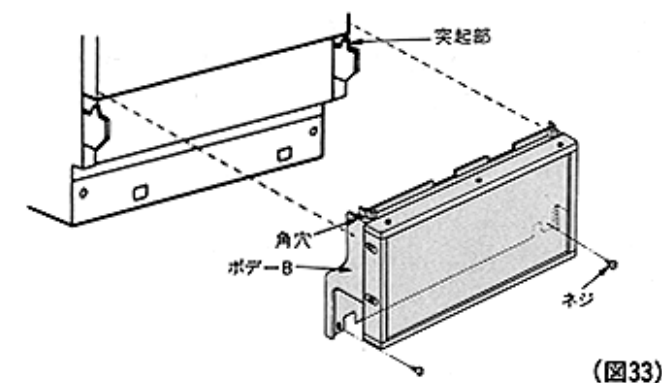
表 示	原 因	処 置
<p>(太文字部点灯)</p> <p>90分 念 入 り 60分 標 準 45分 軽い汚れ 30分 ソ フ ト 乾燥切 予 洗</p>	<p><b>水もれ不良</b></p> <p>本機は底板に水もれ検知装置を備えており、これが動作したためです。</p>	<p>①電源(ブレーカー)を切ってください。</p> <p>②図32に示すゴムキャップを外して、底板にたまった水を抜いてください。 (給・排水接続部からの水もれの有無を確認してください。)</p> <p>③水抜き後、ゴムキャップを差し込んでください。 (忘れますと検知装置が動作できません。)</p> <p>④電源(ブレーカー)を入れてください。</p>
<p>90分 念 入 り 60分 標 準 45分 軽い汚れ 30分 ソ フ ト 乾燥切 予 洗</p>	<p><b>排水不良</b></p> <p>排水ホースの折れや異物のつまりによって、洗浄槽内の水が排水できないためです。</p>	<p>●電源スイッチを「切」にしてください。</p> <p>●排水ホースに折れぐせがついていないか確認してください。</p> <p>●ホース折れ部には必ず同梱のホーススプリングを挿入してください。(図30)</p>
<p>90分 念 入 り 60分 標 準 45分 軽い汚れ 30分 ソ フ ト 乾燥切 予 洗</p>	<p><b>給水不良</b></p> <p>断水や水道栓の開け忘れなどで給水ができないためです。</p>	<p>●電源スイッチを「切」にしてください。</p> <p>●断水の場合は断水の回復を待って運転してください。</p> <p>●水道栓(元栓および本体内の止水栓)は必ず開栓してください。</p>

上記の処置後、再度試運転を行ってください。  
(異常報知しなければ正常に戻っています)

## 7. 試運転後の設置作業

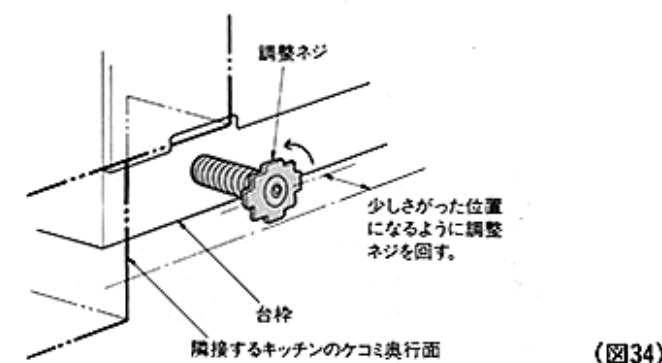
### 7-1. ボデーBの本体への取り付け

ボデーBの上部の角穴を本体の突起部にはめ込んでから、下部を(4-5)項で外したネジで締め付けてください。  
(左右2ヵ所)(図33)



### 7-2. 調整ネジの出代の調整とケコミ補強板の取り付け

1 台枠前面の調整ネジを隣接するキッチンのケコミ奥行面から少しさがった位置になるようにしてください。(図34) この時、図35に示すように調整ネジの四角の頭部の一辺が床面と平行になるようにしてください。

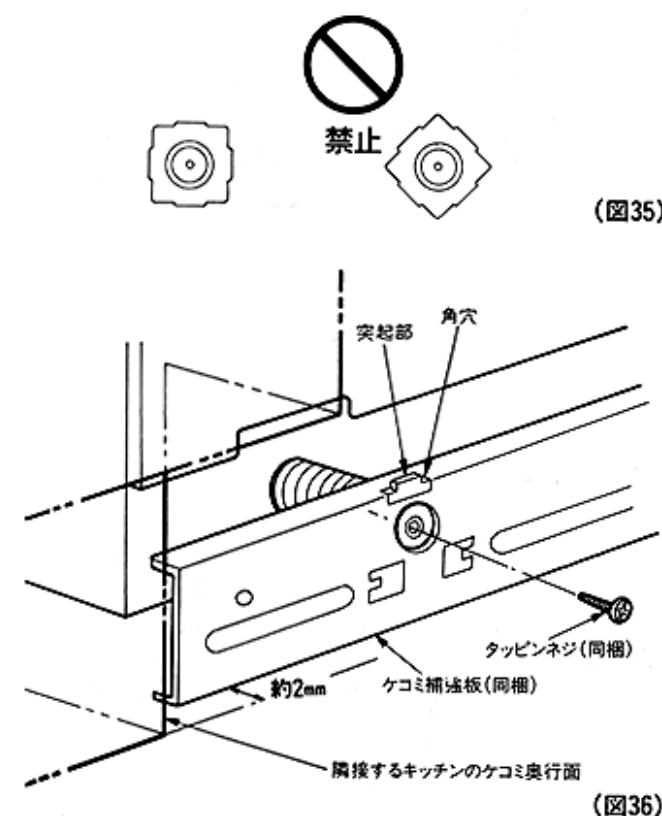


2 同梱のケコミ補強板の上部の角穴を調整ネジの突起部にはめ込み、ケコミ補強板の前面が隣接するキッチンのケコミ奥行面から約2mmさがった位置になるよう調整ネジの出代を調整してください。(左右とも)(図36)

- 調整ネジは90°まわすと出代が1mm変わります。
- ケコミ補強板の表面に刻印されている(上下)を確認し、まちがわないようにしてください。

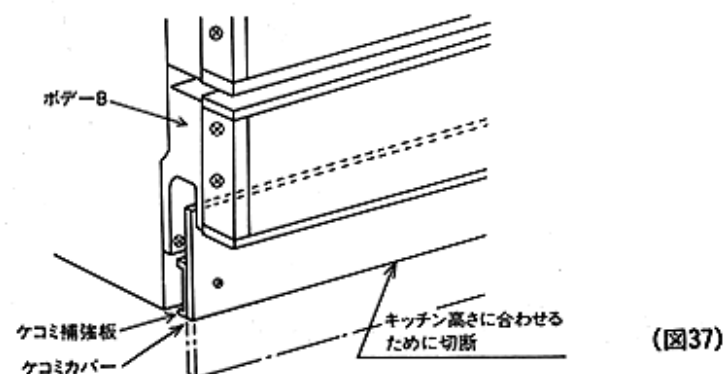
ケコミ補強板 小: 800mm用  
大: 850mm用

3 同梱のタッピンネジ(2本)でケコミ補強板を調整ネジに締め付けてください。(図36)



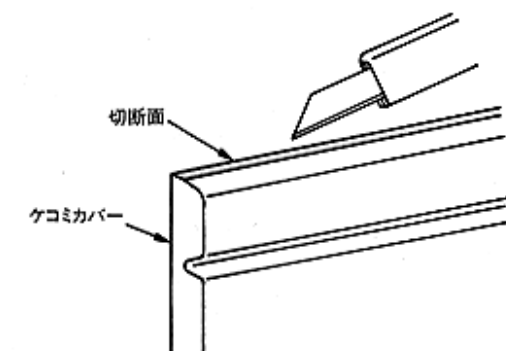
### 7-3. ケコミカバーの切断

- 1 同梱のケコミカバーを裏面のV溝にそってカッターナイフ等で切断してください。(図37)  
キッチン高さにより、切断箇所が異なりますので注意してください。

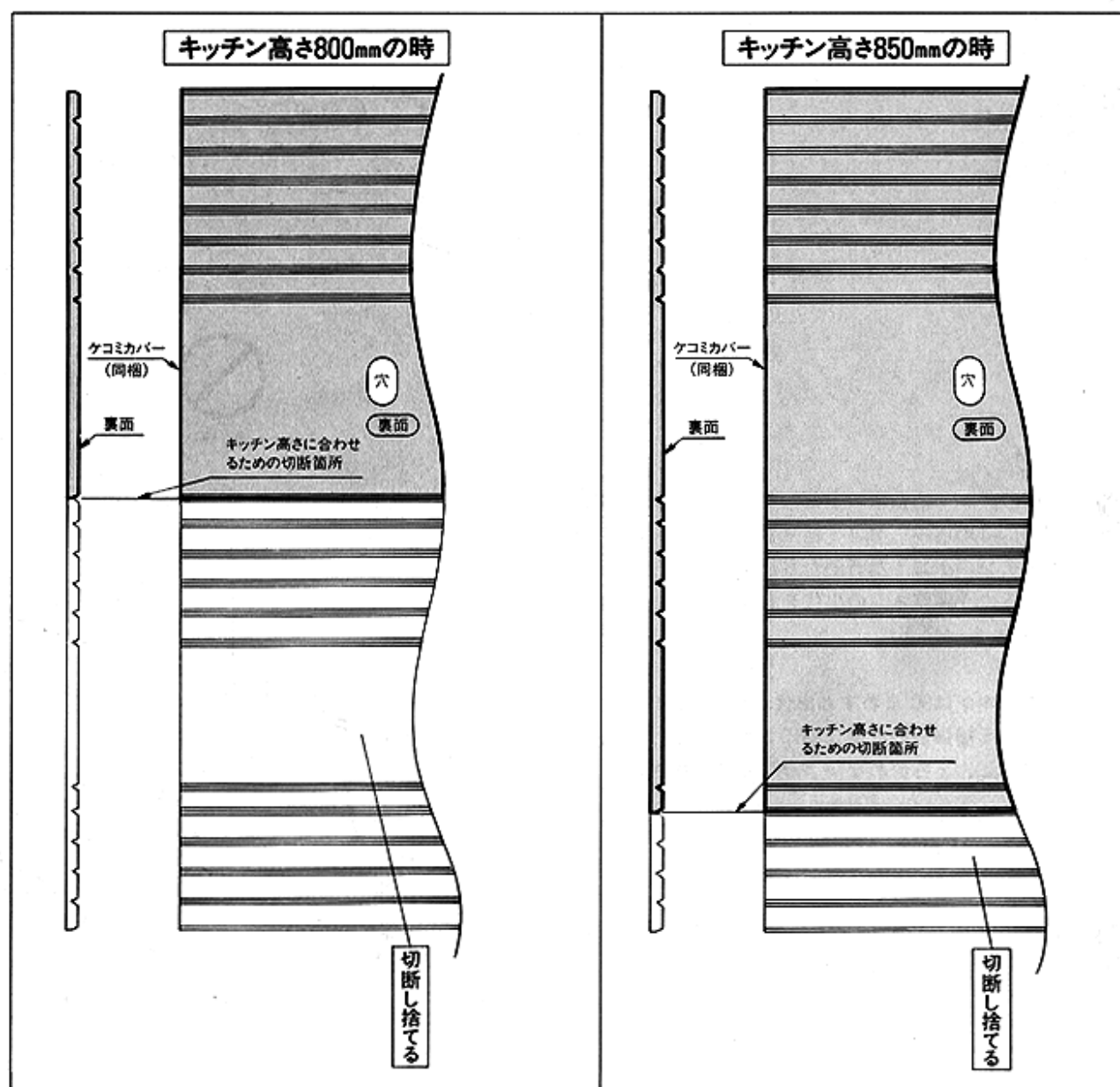


(図37)

- 2 カッターナイフ等で切断面の端面処理をしてください。  
切傷防止のため必ず行ってください。(図38)



(図38)



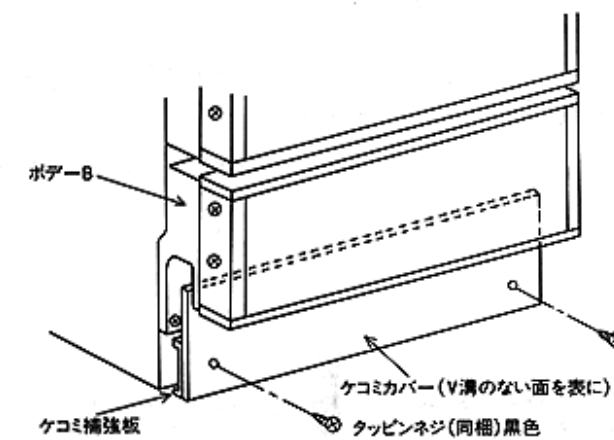
上図は切断位置の一例を示します。設置されるキッチン高さに応じて、ケコミカバーとケコミ補強板の穴位置が合う高さで切断してください。

### 7-4. ケコミカバーの本体への取り付け

- 1 同梱の黒色のタッピンネジ(2本)でケコミカバーをケコミ補強板に取り付けてください。(図39)

ケコミカバーはV溝のない面が表側になるようにしてください。

- 2 ケコミカバーの前面が、隣接するキッチンのケコミ奥行面と同一面になっているか確認してください。もし、同一面になっていない時は、ケコミカバー、ケコミ補強板をはずして、調整ネジの出代を調整し直してください。



(図39)



## 8. 工事後の点検(チェックリスト)

点 検		点 検 内 容	参照項目	チェック
機器及びその周辺	ド ア の 開 閉	他の機器への障害はありませんか。	7ページ(3-4)	
	排 気 口 の 調 整	アンダーカウンターにビルトインする場合、カウンターの最前部より5mm程度出ていますか。	16ページ(5-6)	
	ケ コ ミ 部	ケコミカバーの前面が、キッチンのケコミ奥行面と同一面になっていますか。	21ページ(7-4)	
給水・排水接続	給湯機との接続の場合	指定する給湯機に接続されていますか。	8ページ(3-6)	
	フ ィ ル タ ー	フレキシブルホースと止水栓との接続部にフィルターを挿入しましたか。	16ページ(5-5)	
	排 水 ホ ー ス	排水管との接続部は確実に接続したことを確認しましたか。また押しつぶされたり、無理に折れ曲がったりしていませんか。	14ページ(5-1) 16ページ(5-5)	
電 気 接 続		電源コンセントは専用回路で、電源プラグは125V 15Aのアースターミナル付埋込みコンセントに接続しましたか。	5ページ(3-2) 14ページ(5-3)	
		アース線を接続しましたか。	14ページ(5-3)	
試 運 転		試運転を行い、正常に動作しましたか。	17ページ(6-1) 17ページ(6-2)	

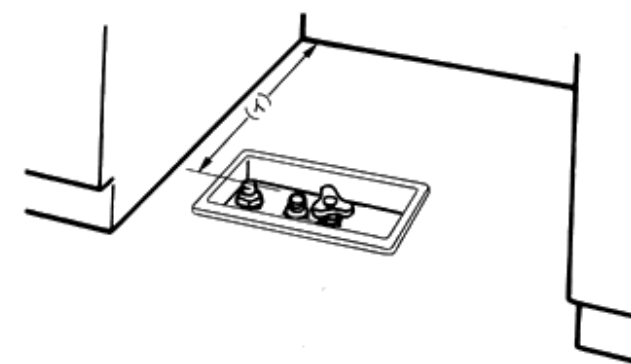
## 9. お客様への取り扱い説明

- 1 取扱説明書によって製品の取り扱いを説明してください。
- 2 保証書に必要事項を記入のうえ、保管のお願いをしてください。

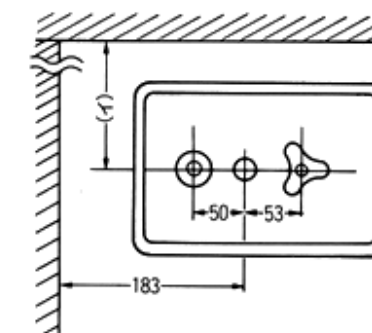
## 10. 買い替えの場合の配管施工例

### 10-1. NP-9102タイプの場合

基本の給・排水配管(床下配管)の形態は(図40)、(図41)、(図42)に示すようになっています。

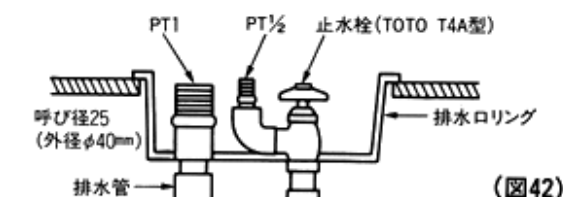


(図40)



(図41)

	(イ)寸法
ワークトップの奥行75cmに設置の場合	485mm
ワークトップの奥行65cmに設置の場合	385mm
ワークトップの奥行60cmに設置の場合	335mm



(図42)

この床下配管を基に24～26ページに示す配管を行ってください。  
食器洗い乾燥機の設置は9ページの「4. 設置手順」以降に従って行ってください。

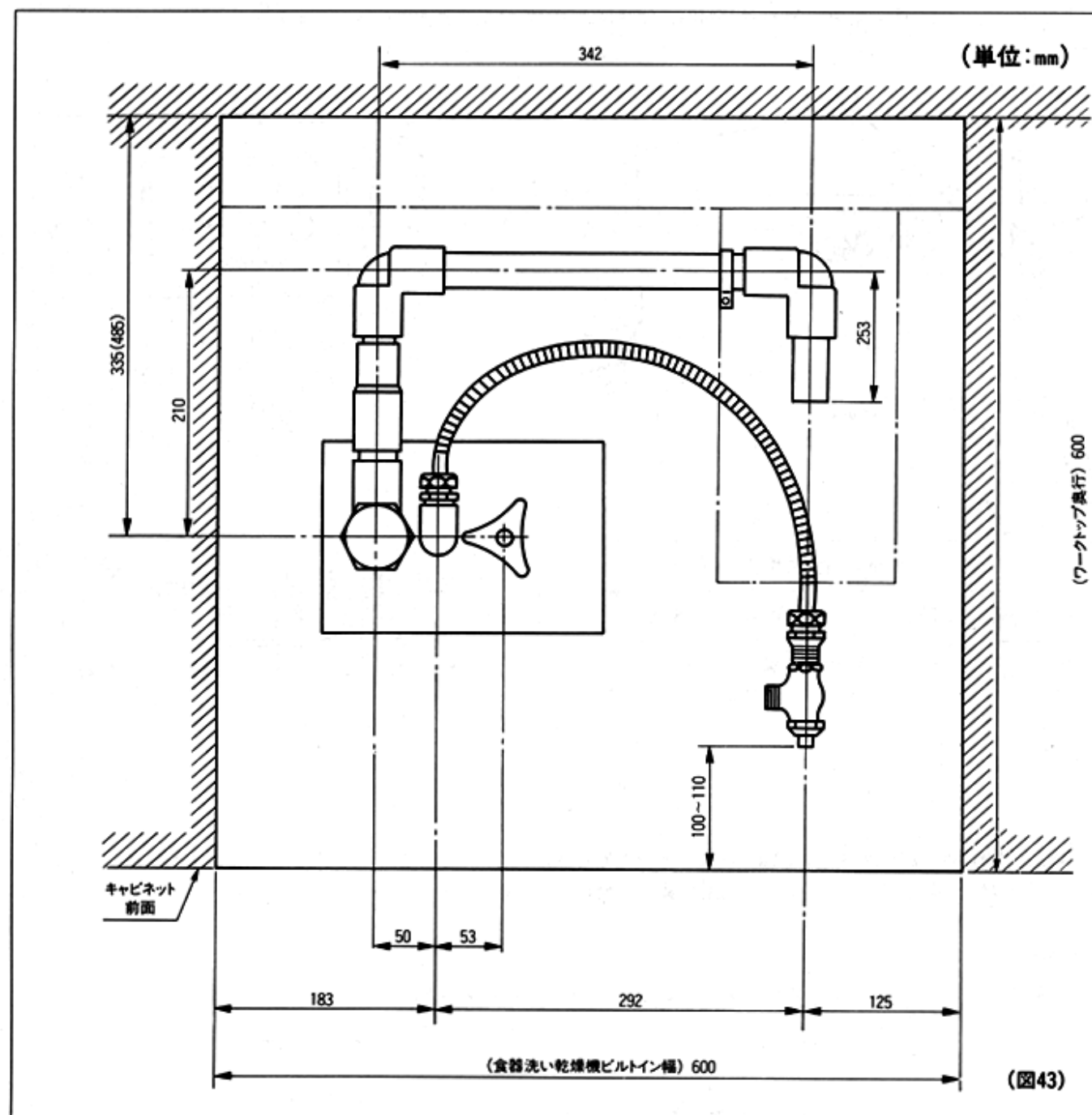
#### お願い

- 電源を200Vから100Vに変更し、125V 15Aのアースターミナル付埋込みコンセントを取り付けてください。



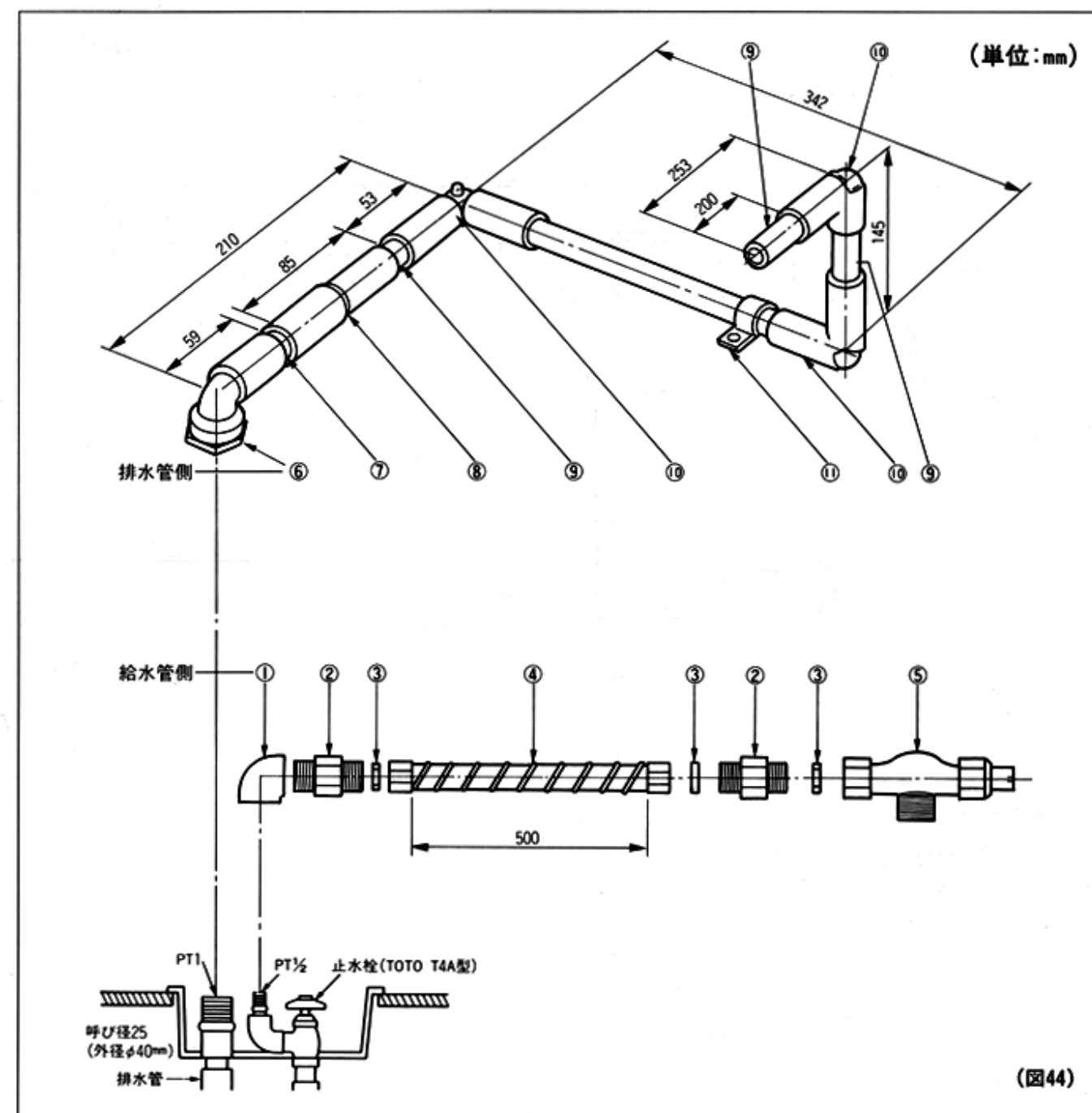


# 基本寸法図



( )内の寸法はワークトップの奥行75cmに設置の場合の寸法

# 現地調達部材・構成部品寸法図



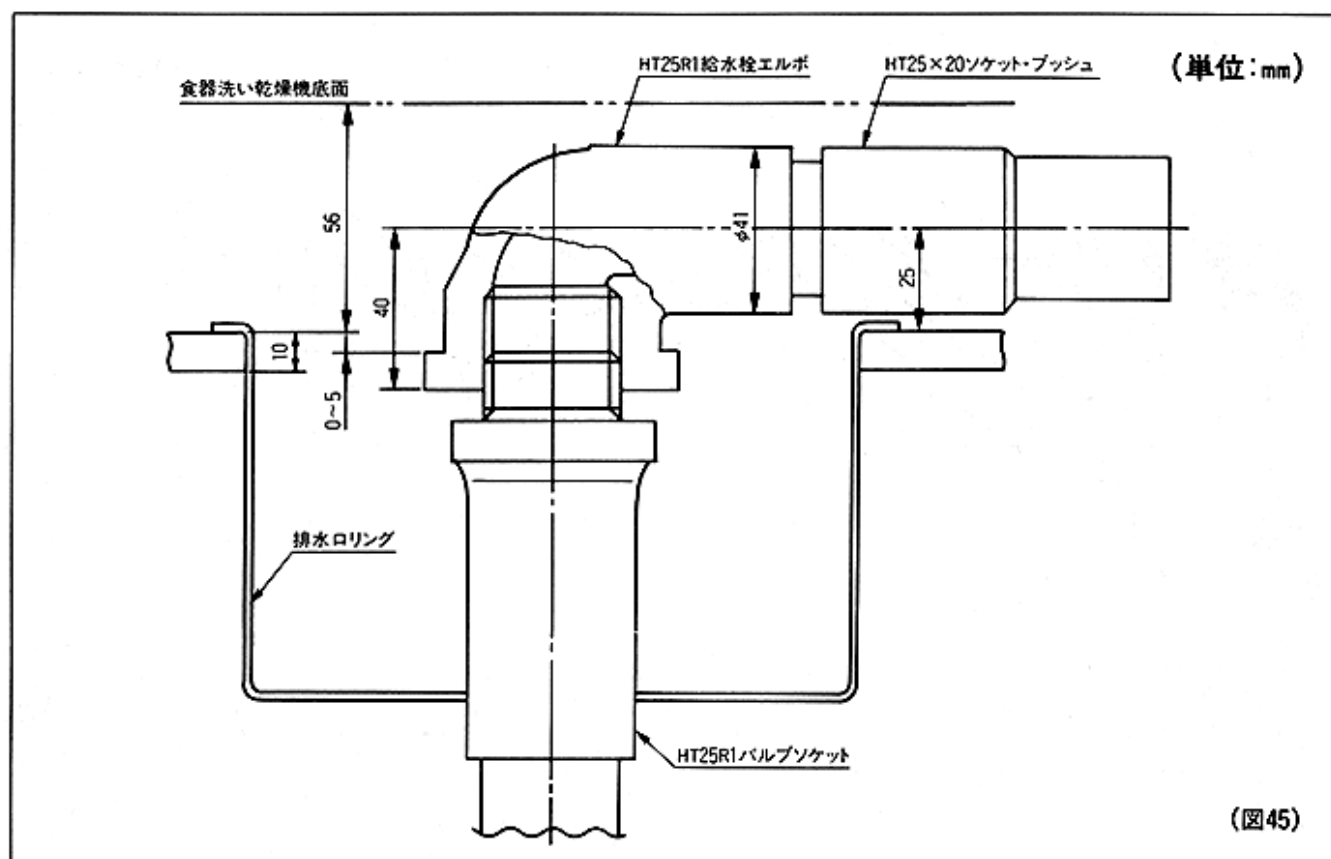
## 給水(給湯)管側

- ①Rc $\frac{1}{2}$ エルボ
- ②R $\frac{1}{2}$ ニップル
- ③パッキング
- ④13mm用 $\ell$ :500mmステンレスフレキ管
- ⑤ドライバー用アングル型止水栓

## 排水(耐熱塩ビ)管側

- ⑥HT25相当品25mmRp1給水栓エルボ
- ⑦HT25相当品パイプ
- ⑧HT25 $\times$ 20ソケット・プッシュ
- ⑨HT20パイプ
- ⑩HT20エルボ
- ⑪パイプ固定フック

## 排水ロリング内での関係部材接続寸法図



## 工事手順

- ①現地調達部材(図44)を用意してください。
- ②部材は基本寸法図(図43)、構成部品寸法図(図44)を参考に配管してください。
- ③排水側：給水栓エルボを排水ロリング内の接続寸法図(図45)の0~5mmになるよう接続し順次部材を配管、フックにてパイプを床面に固定してください。
- ④給水側：止水栓(TOTO T4A型)のニップル(図44)にシールテープを巻きエルボを取り付けてください。以下ニップル、フレキ管、止水栓(アングル型)を必ずパッキンを入れ接続配管してください。

配管が終わると必ず止水栓(TOTO T4A型)を開放し接続部からの水漏れがないか確認してください。

## 10-2. NP-9103タイプの場合

基本の配管の形態は次に示すうちのどれかになっています。

- ①床立上げの配管
- ②壁出しの配管
- ③床ころがしの配管

配管形態に応じて、次に示す配管の工事を行ってください。

食器洗い乾燥機の設置は9ページ「4.設置手順」以降に従って行ってください。

### 1 床立上げの配管例 (排水管を上にしてください)

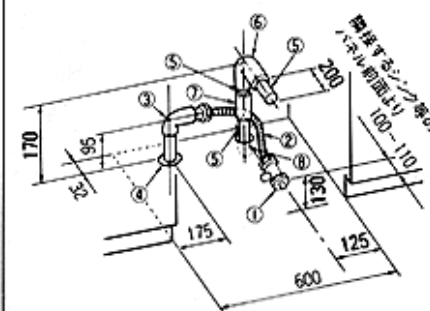
給水(給湯の場合は耐熱配管)

- ①ドライバー用アングル型止水栓
- ②フレキ管(ℓ:550mm)  
(ニップル、パッキンを用意してください。)
- ③Rc $\frac{1}{2}$ エルボ
- ④硬質塩化ビニルライニング銅管相当品  
(断熱材巻付けφ48以内)

排水(耐熱塩ビ使用のこと)

- ⑤HT20相当品パイプ
- ⑥HT20相当品エルボ
- ⑦HT20相当品ソケット
- ⑧HT相当品ソケット・ブッシュ  
(40×20)

※排水管⑤の長さはキッチン奥  
行し=60cm基準です。  
キッチン奥行が長い場合は延  
長してください。



(図46)

### 2 壁出しの配管例 (排水管を上にしてください)

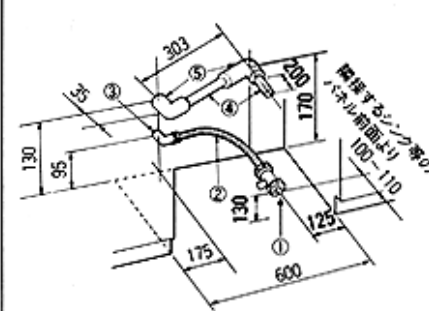
給水(給湯の場合は耐熱配管)

- ①ドライバー用アングル型止水栓
- ②フレキ管(ℓ:550mm)  
(ニップル、パッキンを用意してください。)
- ③Rc $\frac{1}{2}$ エルボ

排水(耐熱塩ビ使用のこと)

- ④HT20相当品パイプ
- ⑤HT20相当品エルボ

※排水管④の長さはキッチン奥  
行し=60cm基準です。  
キッチン奥行が長い場合は延  
長してください。



(図47)

### 3 床ころがしの配管例 (排水管を上にしてください)

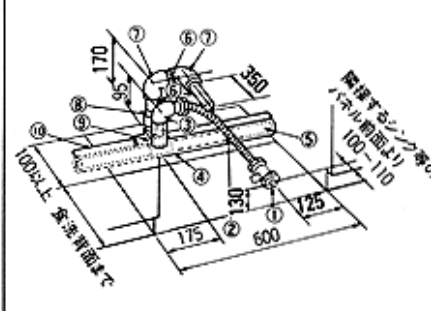
給水(給湯の場合は耐熱配管)

- ①ドライバー用アングル型止水栓
- ②フレキ管(ℓ:650mm)  
(ニップル、パッキンを用意してください。)
- ③Rc $\frac{1}{2}$ エルボ
- ④チーズ
- ⑤硬質塩化ビニルライニング銅管相当品

排水(耐熱塩ビ使用のこと)

- ⑥HT20相当品パイプ
- ⑦HT20相当品エルボ
- ⑧HT相当品ソケット・ブッシュ  
(40×20)
- ⑨HT相当品チーズ
- ⑩VP40

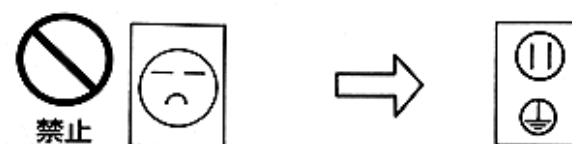
キッチン奥行し=75cm又は  
水切りによって壁面と食器  
洗い乾燥機背面との距離に  
余裕がある場合のみ可能で  
す。



(図48)

## お願い

- 電源を200Vから100Vに変更し、125V 15Aのアースターミナル付埋込みコンセントを取り付けてください。



## **松下電器産業株式会社 ランドリービジネスユニット**

〒561-0823 大阪府豊中市神州町1番2号

電話(大阪06)6331-0051(大代表)

© 2006 Matsushita Electric Industrial Co., Ltd.(松下電器産業株式会社) All Rights Reserved.

P9902-19050